

第2章 3次計画の指標の評価

1 3次計画の指標の達成状況

3次計画において、20の評価指標を定め、指標によっては年代毎に評価をしました。朝食の欠食は全年齢にみられますが、改善した年代もみられます。食育の関心や共食、米食を中心とする日本型食生活、野菜摂取については悪化しており、さらなる充実した取組が必要です。

3次計画評価指標基準値との比較（改善傾向 ○ 悪化傾向 ●）

評価指標		基準値 (平成29年度)	現状値 (令和6年度)	目標値	評価
1.朝食を欠食する人の割合 ※朝食を毎日食べる人以外の割合	幼児	5.0%	6.1%	減少	●
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	20.0%	26.9%		●
	小学生	15.3%	11.5%		○
	中学生	20.4%	24.2%		●
	高校生	24.2%	22.7%		○
	成人	17.6%	22.6%		●
2.野菜の1日摂取量 ※小学生:野菜をたくさん食べる人の割合 中学生・高校生:毎食食べる人の割合 成人:1日5皿以上食べる人の割合 ※350g以上摂取を5皿以上で評価	小学生	69.0%	73.8%	増加	○
	中学生	46.4%	47.1%		○
	高校生	39.0%	43.3%		○
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	1.7%	0.7%		●
	成人	3.8%	2.4%		●
3.バランスのとれた朝食をとっている人の割合 (主食+主菜+副菜) ※毎日バランスのとれた朝食をとっている人の割合	小学生	25.5%	46.2%	増加	○
	中学生	24.4%	34.4%		○
	高校生	21.0%	24.0%		○
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	13.5%	16.8%		○
	成人	29.1%	22.2%		●
4.夕食後に間食をとっている人の割合	1歳6か月児健診	40.9%	29.0%	減少	○
	3歳児健診	50.2%	53.0%		●
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	31.5% (H30)	—		—
	成人	10.7% (H28)	—		—
5.よくかんで食べている人の割合	幼児	84.3%	70.1%	増加	●
	小学生	76.2%	85.6%		○
	中学生	78.8%	84.4%		○
	成人	54.4%	62.1%		○
6.健康増進のための取組(運動や食生活の改善など)をしている人の割合	成人	54.9%	—	増加	—

評価指標		基準値 (平成29年度)	現状値 (令和6年度)	目標値	評価
7.食品を購入する時に食品表示 (栄養成分表・アレルギー表示)を見る人の割合 ※見る、時々見る人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	71.9%	43.2%	増加	●
	成人	63.7%	44.3%		●
8.食育に関心を持つ人の割合 ※関心がある、どちらかといえば関心がある人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	91.9%	71.6%	増加	●
	成人	75.8%	65.4%		●
9.食事づくりに興味がある人の割合 ※十分ある、少しある人の割合	8か月児健康相談	94.2% (H26)	84.3% (R5)	増加	●
	1歳6か月児健診	86.9% (H28)	81.0% (R5)		●
	3歳児健診	87.9% (H28)	87.3% (R5)		●
10.朝食を家族と一緒に食べる「共食」の割合 ※大人の誰かと一緒に食事をする人の割合	幼児	69.6%	65.7%	増加	●
	小学生	72.5%	55.0%		●
	中学生	59.4%	38.5%		●
11.食品ロスという問題を知っている人の割合 ※よく知っている、ある程度知っている人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	—	96.3%	増加	—
	成人	63.2%	92.6%		○
12.食品ロスを軽減するために取り組んでいる人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	35.1% (H30)	—	増加	—
	成人	57.1% (R3)	—		—
13.主食に米飯を食べる割合 ※1日2～3回米飯を食べる人の割合	小学生	86.5%	73.8%	増加	●
	中学生	91.2%	87.7%		●
	高校生	89.3%	86.2%		●
	成人	80.8%	65.1%		●
14.柑橘類等の果物の摂取量 ※1日に1個以上食べる人の割合	小学生	64.2%	57.7%	増加	●
	中学生	38.5%	57.3%		○
	高校生	30.0%	44.4%		○
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	11.0%	—		—
15.魚を夕食に利用する頻度 ※1週間に2回以下の割合	中学生	56.4%	62.4%	減少	●
	高校生	65.7%	63.9%		○
	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	70.9%	77.8%		●
16.給食(学校)における地場産物活用	小・中学校	39.0% (H28)	51.8% (R5)	増加	○
17.郷土料理の認知度	小学生	—	67.6%	増加	—
	中学生	—	91.6%		—
	高校生	—	87.1%		—
18.郷土料理を家庭に取り入れる人の割合	幼児を持つ保護者 (20～40歳代)	15.8%	39.5%	増加	○
	成人	—	49.1%		—
19.食育の集団指導回数	保育所・認定こども園	274回	148回	増加	●
	幼稚園	55回	—		—
	小・中学校	—	608回		—
20.食育ボランティアの人数	食生活改善推進員	245人 (H28)	150人	増加	●
	元気うわじま サポートバンク会員	個人 15人 団体 18団体	個人 18人 団体 14団体		○

第2章 3次計画の指標の評価

2 連携した食育の取組

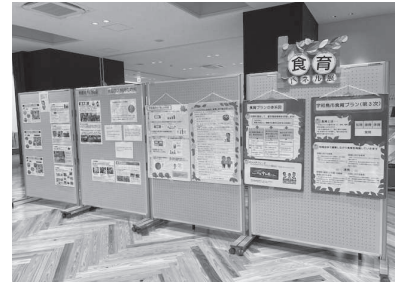
3次計画では、食育推進のため、それぞれの役割に応じた推進体制のもと、効率的に食育が推進されるよう相互に連携しながら取組を行いました。

	農林課	水産課	こども家庭課	保育所 認定こども園 幼稚園	学校	生涯学習課	保険健康課
(関係団体) 農林課	●えひめ食農教育推進事業 ●食文化普及推進事業 ●援農体験事業 ●園芸産地再編推進事業(ブラッドオレンジフェア)						
(関係団体) 水産課	●地場産物を利用した食育(みかんジュース作り等)						
(関係団体) 水産課	●魚市場見学 ●養殖場見学会 ●さかな屋大将のお魚さばき方&刺身盛り合わせ教室 ●宇和島市小学校 出前授業						
こども家庭課	●地場産物食育推進事業(みかん・お米・鯛等の出前講座) ●食育かるた配布 ●食の循環や環境を意識した食育活動						
生涯学習課 (公民館)	●家庭教育支援事業 ●公民館学級・各種講座						
生活環境課	●ダンボールコンポスト出前講座						
保険健康課 (推進生活改善協議会)	●小児生活習慣病予防事業 ●18才.心とカラダのサポート講座 ●健康づくり出前講座 ●郷土料理講習会						
食育連絡会	●栄養バランスのよい朝食の啓発 ●野菜摂取啓発・野菜カレンダー・野菜レシピ普及、野菜たっぷり弁当の取組 ●食品ロス削減について検討 ●郷土料理の継承普及 ●元気うわしまサポートバンクの運用促進 ●食育の周知活動・パネル展、イベント、広報、ホームページ等 ●食育連絡会定例会議						

★3次計画の連携した取組★

●栄養バランスのよい朝食の啓発

- ・ケーブルテレビを利用した放送
市政広報番組で、「栄養満点!3分朝ごはん」を放送
- ・簡単朝食メニューの紹介
伊達なうわじま安心ナビ子育てモードに「簡単朝食メニュー」を掲載し、啓発
- ・広報の特集ページで朝食摂取を啓発



●地産地消、健康づくりの取組

- ・減塩レシピを募集し、市政広報番組を活用して普及啓発
- ・宇和島の旬の野菜カレンダー・ポスターの作成
道の駅に掲示、また、教育や幼児健診等で配付
ポスターを作成し、パネル展等において啓発
- ・野菜たっぷり弁当の取組(取扱店 5店舗)
野菜、海藻、芋類を120g以上含む弁当を依頼
- ・広報で野菜摂取について啓発



●食品ロス削減

- ・担当課において「食品ロス削減推進計画」策定
- ・ポリ袋クッキングのDVDを作成し、市内小・中・高校へ配付
- ・広報に「食品ロス削減」の記事を掲載

●郷土料理の継承普及

- ・郷土料理のDVDを作成して、市内中学校、高校へ配付し、U-CATで放送
- ・郷土料理講習会の開催

●食育の周知活動

- ・市役所、支所の他、商業施設、銀行等でパネル展を開催
- ・広報の折り込みにて、食育プラン[第3次]の周知
- ・市ホームページの食育のページを充実

●元気うわじまサポートバンクの運用促進

- ・市政広報番組、広報において周知
- ・登録者の発掘及び運用
登録者数 個人 18人
 団体 15団体
- ・サポーター同士がつながれるような体制づくり

●食育連絡会の開催

- ・関係機関が連携して食育を推進するための、連絡会の開催